

Lead

All roads lead to the future リード



コミュニケーションペーパー
2016 Summer 夏号 **¥0**
TAKE FREE



〈特集〉
人文社会科学部、農林海洋科学部がスタート！
大学が変わる
大学が変わる

のぞいてみよう高知大学の授業！！
Labo通信
「水熱法」による
全国唯一の実験所！

Support
学生生活の悩みならなんでもサポート
学生総合支援センター特別修学支援室

ぼくらのキャンパスライフ特別編
部活動を支える仕事に迫る！
主務&マネージャー

高知大学ニュース

高知大学で開催するイベントをご紹介します。

イベントインフォメーション Event information 2016 夏号



オープンキャンパスのお知らせ Open campus 2016

医学部の学びを
体験しよう！



朝倉キャンパス

8/6(土) 人文社会科学部 10:00~15:00

●コース紹介●なんでも相談コーナー●模擬授業・ミニゼミ(各コース)●キャンパスツアー●教員と学生の交流会
(詳しくは、人文社会科学部ホームページで案内します。)
<http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/>

8/6(土) 土佐さきがけプログラム 10:00~15:00

●相談コーナー●授業見学●留学報告会

8/6(土)・7(日) 全学企画

■保護者向けガイダンス
就職・奨学金・授業料免除関係の説明を行います。
■サークル紹介 ■なんでも相談コーナー
■寮見学 ■男女共同参画できらめく未来コーナー
■障がい学生サポート・修学サポート相談
■大学院進学相談コーナー(6日のみ)

8/6(土) 理工学部(仮称) 10:00~15:00

※平成29年4月理学部から改組 認可申請中
●学部紹介●学科構成と入試概要●わたしの大学生活(先輩の話)
●パネル展示と入試相談コーナー ●理学部1・2号館、情報科学棟、地震観測所、水熱化学実験所(附属施設は自由に見学できます。)

8/7(日) 教育学部 10:00~15:00

●入試と学部の説明会●グループワーク●研究室探検ツアー
●ミニ講義(各コース)

8/6(土)・7(日) 地域協働学部 10:00~15:00

●学部紹介●学部1年生による学びの紹介●入試概要説明●学部なんでも相談コーナー●体験実習●学生との交流イベント



大学の学びに
ふれてみよう！

岡豊キャンパス

8/7(日) 医学部 13:00~16:30

●医学部紹介●附属病院の紹介●模擬授業●研究室見学●スキルラボ実習体験●教員・在学生への質問コーナー

8/7(日) 看護学科 9:45~12:00

●看護学科紹介●入試情報●カリキュラム説明●台湾大学短期留学体験談●実習室見学・体験●教員・在学生への質問コーナー

物部キャンパス

8/7(日) 農林海洋科学部 9:00~16:00

●学部説明●学科紹介●専攻領域・コース説明●実験室・研究施設見学
●ラボツアー●日章寮見学ツアー●在学生による学生生活紹介

8/7(日) 土佐さきがけプログラム 9:00~16:00

●生命・環境人材育成コース コース紹介●在学生の大学生活紹介

イベント情報

11/3(木) 物部キャンパス
物部キャンパス一日公開 ※予定

地域の特産品、農作物の販売や人気のトレーラー体験コーナーをはじめ、大学を身近に感じられる催しが一杯です。お問い合わせの上、是非お越し下さい。



家族で楽しめる
催しもいろいろ！

10/8(土)・9(日) 岡豊キャンパス
第36回南風祭

医学部の学生が色々な楽しいイベントを企画します。今年の学祭もよろしくお祈りします！



10/29(土)・30(日) 朝倉キャンパス
黒潮祭 ※予定

10月29日(土)、30日(日)に開催します。年に一度のお楽しみ！遊びに来て下さい。



第7回 10/30(日) ホームカミングデー

今年も、大学祭と同時開催です。卒業生の皆様の多数のご参加をお待ちしています。

様々なイベントをご用意しています！

◎企画の内容、開催時間は変更となる場合があります。◎詳細が決まり次第、順次ホームページに掲載します。(http://www.kochi-u.ac.jp/nyusi/open-campus.html)
◎高知大学ホームページ・携帯電話サイト(http://daigaku.jp/kochi-u/)から申込をお願いします。

メルマガ配信中！
月2回配信(第2・4金曜日)

高知大学からメールマガジンを配信しています。大学の「入試情報」から「あれこれ(これは面白い)」まで!!
登録はこちら <http://daigaku.jp/kochi-u>



●お問い合わせ先 皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

高知大学 Kochi University 高知大学総務課
高知大学 検索 <http://www.kochi-u.ac.jp/>

TEL.088-844-8643 FAX.088-844-8033
〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail:kh13@kochi-u.ac.jp

高知大学の最新情報を伝えたい
THE こうち
ユニバーシティCLUB

FM 高知 81.6MHz 毎週日曜日放送中 (9:30~9:55)

高知大学のHPから過去放送分も視聴できます!
http://www.kochi-u.ac.jp/outline/kouhou/radio_fmkochi/
高知大学の教育、研究、地域貢献等のホットな情報をお届けします。

スポンサー企業
高知銀行/相愛/ソフテック





を学ぶために「人文科学コース」「国際社会コース」「社会科学コース」の3つのコースを設置しました。各コースは入試の募集単位で、卒業時に授与する学位も、「文学」「学術」「経済学」と分かれています。

大切にしたのは、専門性です。3つの学位を前提にして、より専門性を高めるため、各コースで合計15のプログラムを設けました。プログラムは専門分野や学問的視点に基づいた科目の集まりで、これが学びのコアを形成します。例えば心理学プログラムを履修した学



人文科学コース



国際社会コース



社会科学コース

〈特集〉

学びが変わる 大学が変わる

今年4月、人文学部を人文社会科学部に、農学部を農林海洋科学部に再編しました。高知大学の学びがどのように変わったのかを紹介します。

人文社会科学部

新しい学問領域が
現代社会の向こうにある
人間のあり方を問い続ける

21世紀の現代に対応した
新しい学問領域を学ぶ

「人文社会科学部」とは、どのような学部ですか？

●吉尾寛学部長（以下・吉尾）
人文社会科学部は、「人文社会科学」という人文科学と社会科学を融合した新しい学問領域を軸にして学ぶ学部です。人文科学と社会科学のどちらも学べる、という意味ではないのです。

このような学問領域を設定したのは、大学を取り巻く社会の変化やニーズを見据えているからです。現代社会が抱える問題は複雑化、多様化しています。例えば



国際社会コース

社会科学コース

人文社会科学部

人文科学コース



人文社会科学部長
人文社会科学系 人文社会科学部門 教授
吉尾 寛

名古屋大学文学部史学卒業、同大学院文学研究科史学地理学単位取得満期退学。博士（歴史学）。2002年、高知大学に着任。「現代は社会情勢をある一面から切ってしまうがちです。しかし、日常生活の中でふと立ち止まって疑問を持ち、若者らしく問いかけを突き詰めてほしいと思います」

学生の意欲に応える
プラットフォーム科目と
プログラム制

「どのように学んでいくのですか？」

高知県のような地方都市には人口減や高齢化、産業振興などの課題があります。これらの複合化した問題に対しては、経済など特定の分野だけでなく、人文科学、社会科学に互いに橋を掛けるような発想をもって解決の手がかりを見つける必要があるのではないか、と考えています。

「このような学問領域を意識している大学は他にもありますか？」

●吉尾 私を知る限り、ないと思います。21世紀に入って、学術界でも人文科学と社会科学の個別分野の相互交流が進んでいます。こうした背景から、それぞれが重なり合う学問領域としての、「人文社会科学」という領域に注目しました。

「どのように学んでいくのですか？」
●吉尾 人文社会科学部には、いくつかの学びの仕組みがあります。一つは、「プラットフォーム科目目」。これは人文科学と社会科学との間を橋渡しする科目群で、学部すべての学生が履修します。1年生から始まりますが、3年生になると「社会心理学」や「男女共同参画の哲学」など、人文科学と社会科学がクロスオーバーした先端的な議論を取り入れた授業を行います。二つ目は、3コース15プログラムによる履修体系です。専門分野

生は、「人文科学を学んだ」だけでなく、「心理学を学んだ」と言えるわけです。プログラムを履修すると、卒業時にプログラム履修証明書が発行されます。学んできた事を具体的に証明するものです。

「学生の学びの意欲を後押しする仕組みもあると聞きました。」
●吉尾 それが三つ目の「ダブルコア」「マルチコア」です。学生はかなり頑張らなければなりません。学生の主体的な学びに促すため、コースの中で2つのプログラムを履修（ダブルコア）したり、異なるコースの中からもうひとつプログラムを選択（マルチコア）できたりします。

学びのコンチェルト

「学生の新学期への反応はいかがですか？」

●吉尾 新入生は、この新しい学部の最初の入学生であることを意識していると思います。ただ、人文社会科学部というのは

「どのような人材を育成したいと考えていますか？」
●吉尾 地域の課題の向こうにある、人間や社会の在り方を問い、考えていけるような人材を育てたいと考えます。地域の課題に対して、将来展望を見通すことは容易ではありません。そうした中で人間はどうやって生きていくのか、生きた証を残していくのか。こうしたことに向き合うための知の力を、この学部で養っていただきたい。

「学部案内には「コンチェルト」（協奏曲）という言葉が使われていますが、どうしてですか？」

●吉尾 コンチェルトとは、オーケストラと独奏楽器によって演奏される楽曲です。人文社会科学領域の幅広い教養と専門性が結びつくこの学部の学びは、まさにコンチェルトの響きと思いい、表題に使いました。

主体性をもって学びを選ぶための カリキュラムを整備

今回の再編でカリキュラムの大きく変わった点は、風通しが良くなったという点でしょう。例えば、違うコースのプログラムも履修することが可能です。教員免許もかつては学科指定のものだけでしたが、学部として認められるものは自由に取れるようになりました。

しかし、核になるものがないと、その自由が活かされません。そこで、プラットフォーム科目を設けて学部としての統一性を持たせる組み立てになっています。



プラットフォーム科目は「基礎」「外国語」「発展」の3つのカテゴリーに分かれています。基礎科目は人文社会科学領域の基礎となる科目で、概論系が多い。例えば学部の必修科目である「サチリテラシー」という講義では3つのコースの基盤となるような調査技法の基本を学びます。

発展科目は、現代社会のあり方を、さまざまな視点から専門を生かしながら学んでいく科目。ある程度専門的な学びを進めてきた3年生で履修することで、人文科学と社会科学の融合した学問領域をより深く学ぶことが出来ます。

専門的な学びを進めるために設けたのが、15のプログラムです。目的を

もって学びを進めるために、「こういう順番でこのように履修すればこんな勉強ができますよ」というのを、プログラムという形で示しています。履修の仕方については、アドバイザー教員が指導します。教員は1年生の時から少人数制のゼミナールなどで日常的に接し、アカデミックな指導もするし、履修についての相談にも乗ります。教員が目途性を見極め、アドバイスしていきます。

ただ、プログラムを履修しなくても卒業することはできます。やはり、学生が主体性をもって選んでいくことが大事だと思うので、縛るのではなく、メニューを出してその中から選ぶような仕組みにしました。幅広く学ぶこともできますし、深く専門分野を極めることもできます。あくまでも選択肢を握っているのは、学生の皆さんです。



教務委員長
教育研究部 人文社会科学系
人文社会科学部門 教授
小澤 万記

東京大学大学院人文科学研究科比較文学比較文化専修修士課程修了。平成4年、高知大学に着任。「高校生の皆さんへ。大学でいろいろな視点から物事を考えるという授業を受けていく中で、自分の将来も考えることができると思います。そういう機会を学生に提供したいですね」

農林海洋科学部



農林海洋科学部長
自然科学系 農学部
教授

尾形 凡生

香川県生まれ。京都大学農学部卒業、同大学院博士課程中退、農学博士。専門は果樹園芸学。種なし果実の研究に取り組んでおり、「文旦は残念ながら実が小さくなってしまいます。種ができないことに気づいて、果実に糖分を送らなくなる。買いですね。温州みかんは買さが足りないから、最後まで気づかない(笑)」



ですが、農業も農業者も一次産業です。軍が農林海洋科学部である、と探査などもホットな話題

まず「農林資源環境科学部」は、栽培を中心とした狭義の農学、林学、農業工学、自然環境学が合わさった学科学です。これまでは農学部の陸の部分で担ってきた領域を中心に研究教育を行っています。

次に「農芸化学科」は、生命を化学で考え、化学の視点から農学にアプローチします。近年、他大学では生命科学や分子生物学の名前を冠することが多い分野ですが、原点に立ち帰る意味もこめてこの名称にしました。

「これらの農学領域に、海洋資源系が加わったわけですね。」

陸から海まで網羅し、学びがぐっとスケールアップ!

「農林海洋科学部」とはどういった学部なのでしょう?

●尾形 凡生学部長(以下、尾形)

これまでであった農学部には海洋資源やマリノバイオの領域を加えた新しい学部です。農学と海洋科学は方向性の異なる学問のように思えるかもしれませんが、資源やエネルギーの獲得と利用という観点から

考えるとそうではありません。植物は太陽エネルギーを利用して光合成を行い、生命が利用できるエネルギーに変換します。つまり農学は、太陽エネルギーをいかに無駄なく獲得し、資源を生み出して効率的に活用するかを研究する学問だといえます。海の中というのは、これまで何があるかわからない、人間の手の届かない未知の空間でした。それが21世紀の今日、資源を手に入れることのできる宝庫であることがわかりました。資源の探索と獲得、そ

してその利用。陸も海も同じじゃないか。なら、一緒にやろうということ。とで私たちの学部が生まれました。

「高知大学には海洋コア総合研究センターもあります。」

●尾形 高知大学は以前から、海底探査の最前線という看板を掲げてきました。コア研究は生命の歴史に関する重要な情報をもたらしてきましたし、高知沖にその存在が確認されたメタンハイドレートは、もともと生物の集めた太陽エネルギーらしい。生命というキーワード

学科横断型の実習やプログラムで刺激し合って学ぶ

「農林海洋科学部にはどのような学があるのでしょうか?」

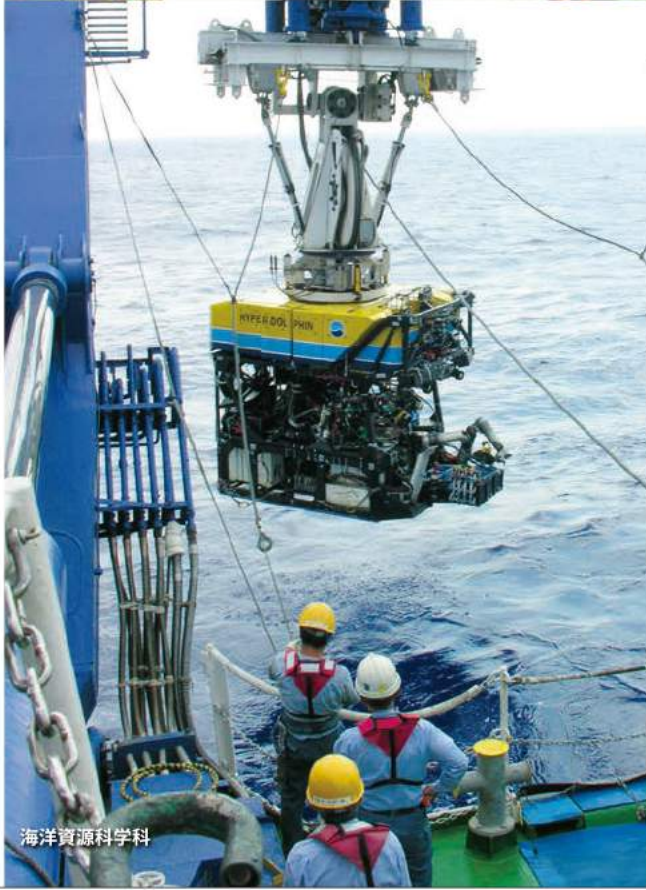
●尾形 3つの学科で構成されています。



農林資源環境科学科



農芸化学科



海洋資源科学科

「カリキュラムにはどういった特徴がありますか?」

●尾形

200名の学生が一堂に受講する全体授業を設けています。なかでも大きな特徴は実験型の専門導入教育「フィールドサイエンス(FS)実習」です。学部学生全員が6日間の実習を受講します。専門の知識だけではなく、いろいろな領域の常識を身につけてほしいというのが狙いです。学部共通授業は1年次に配置されていますが、2年次以降も学科横断型の「国際協働特別プログラム」「農山漁村地域連携プログラム」を設けており、3学科すべての学生が受講できます。

「FS実習とはその名の通り、フィールドに出て行われるのですか?」

●尾形 物部キャンパスの農場での実習はもちろん、太平洋での海浜生物観察、シノーケリングなども行います。海も山も、高知県の自然の恵みは桁が違うので、入学当初にぜひ体験してもらいたい。基本的には楽しく行う、1年次に相応しい導入部分としての実習実習です。このFS実習が2年次以降、各領域の専門的な実習実習につながっていきます。

自然豊かな海、山、川、農林海洋科学を学ぶ最適なフィールド!

「農林海洋科学部ではどのような人材を育成していきますか?」

●尾形

生命地球科学の素養を身につけた常識ある社会人、役立つ社会人を育成します。専門知識はもちろんです。そればかりではなく、もっと深いベースとなる「生きる」ということを身を持って感じながら学び、社会で活躍できる能力を身につけて卒業していただくのが目的です。

「これから高知大学を目指す高校生に向けてメッセージを。」

●尾形

高知県には農林海洋科学を学ぶための最適なフィールドがあります。平地が狭い分、山と海がものすごく近い。身近なところにこんな自然豊かなフィールドが揃っている土地はありません。さらにいえば、高知県では昔から、工夫してモノづくりをするという考え方が培われてきました。この特徴的な風土のなかで学ぶことは大いに意義があると思います。

見て、触れて、味わって、考える 充実のフィールドサイエンス(FS)実習

農林海洋科学部となって初めてのフィールドサイエンス(FS)実習は5月、東京ドーム7個分に及ぶ広さの農場を有する高知大学物部キャンパスで行われました。今回は「農林メニュー」で、朝から夕方まで多彩なプログラムがびっしり。午前中はハウス内でのフルーツマトの収穫、自然あふれるキャンパスを歩きながらの昆虫と花の観察、米の品種についての講義と食味実習が組み込まれていました。

「せっかくなので高知で学ぶのですから、高知が全国に先駆けて栽培を行っているフルーツマトを実習の題材にしました」とは収穫実習を担当した山根信三講師。学生たちはハウスに入って、土耕栽培と養液栽培では植物の生育はどう異なるのかなどについて、山根先生からレクチャーを受けました。もちろんFS実習では、講義を聞くだけでなく、実習を受けたい。「実際にフルーツマトを間近に見て、触って、手についた匂いを感じて、熟したものを食べて、味わってみる。そして感じたままのことをレポートしてもらいます」と



山根先生は話します。学生たちは収穫したトマトにかじりつき、想像をはるかに超える甘さに目を丸くしていました。

午前中のメニューを終えると、昼食を兼ねての炊飯実習。どのように炊けばおいしくできるのかなど、科学的な講義を受けつつ、学生たちは炊飯に取り組みました。午後は田植え実習からスタート。これも単に体験するのではなく、水田の底はなぜ泥状になっているのかなどについてレクチャーを受けながら行動。田植えの後



緑豊かなキャンパスで、樹木の識別、植樹、測量、木材加工などについての実習が行われました。

「専門外のことを経験することによって、もの見方や発想の仕方、アプローチの手法などが多角的に養われると思います」とFS実習の意義を語る山根先生。第2学期は学科別に分かれ舞台を変えて、全く内容の異なる実習が行われる予定です。



教育研究部 自然科学系 農学部 講師

山根 信三

熊本県出身。高知大学大学院修士課程修了、農学修士。高知県農林水産部を経て、高知大学の講師に就任。専門は園芸学。「農家さんを相手に、現場で何が必要とされているかを見てきました。やはり、独りよがりな研究ではいけません。研究者こそ、どんな現場に出るべきかと思っています」

「水熱法」による全国唯一の実験所！

「水熱法」による全国唯一の実験所！

理学部附属水熱化学実験所

教員 柳澤 和道教授 × 学生 田北直也さん

「水熱化学実験所」とはどういった施設なのでしょう？

柳澤 昭和48年にできた施設で、名前の通り、水と熱を利用した「水熱法」による実験を行っています。この分野で「水熱」と銘打った施設は全国唯一でしょうね。では、何をやっているのか。水を温めると100℃で沸騰しますよね。この時、鍋のふたを閉めておくと、パンパン持ち上がりますが、これは内部で圧力が発生しているからです。ふたをもっと押しさえつければ、内部の圧力が上がり、水の沸点も上昇します。さらに温度を上げていくと、高温高圧の水によって有機物を分解する

ことが出来るのです。これが水熱法の特徴の一つです。
 柳澤 水熱法にはまだ特徴がありません。地球の地下深部は高温高圧の状態になっており、様々な無機物が水に溶け込んでいます。それが地球の表面に近づいてくると、温度や圧力が下がることから、溶け切れなくなると吐き出すようになります。熱水鉱床はこのような反応でできたものです。こうした条件を研究室で再現すると、人工的に鉱物を作ることが出来るんですよ。田北君はそういう実験を行っています。

水熱法とはつまり、モノを合成する技術です

実験は再現できなければ意味はありません



理学部附属水熱化学実験所 所長 教育研究部総合科学系 複合領域科学部門 教授

柳澤 和道

長野県出身。信州大学工学部卒業、東京工業大学博士課程中退、工学博士。1981年に高知大学助手として赴任し、高知県の住人になってから35年。「長野と高知は県民性が全然違います。冬の寒さが厳しい長野では、人懐っこいにならざるを得ない。高知は冬でも暖かいので、みんな守り手ですわね(笑)」

水と熱がエネルギー問題を解決する!?



熱電材料に関する実験に熱中しています

田北さんがこの水熱化学実験所に入った動機は何ですか？

田北 以前から、卒業研究では自然環境に優しいことをテーマにしたいと思っていました。この実験所ではただ単に捨てられてしまっている廃熱を電気に変換できる熱電材料を作っていることを知り、興味を引かれました。実験は楽しいですね。最近、少し成果が上がってきたので、やりがいも感じています。

柳澤 水熱化学実験所には私を含めて教員が4名おり、それぞれが卒業研究に向かう学生を数名見えています。卒業研究を終えると、修士に進んだり、なかには博士課程に進んだりする学生もいます。

柳澤 高温高圧の状態を作り出すオートクレーブという容器を使って実験します。研究室内での実験ですからサンプルがほんの少し取れば良いので、そんなに大きな機器ではありません。逆に大きいと高温にする作業が大変になります。

田北 試薬自体はビーカーの中で混ぜて、それを小さな容器に入れて密閉し、電気炉で温めます。圧力釜と同じ原理で



理学部応用理学部 応用化学コース 4年 田北直也さん

大分県出身。卒業後は大学院に進み、将来は「高知は大分よりもずっと暖かい」とか、ソフトテニス部に所属し、通常は3年で引退のところ、4年定年も試合に出場しているテニス好き。

Support

学生生活の悩みなら なんでもサポート!

学生総合支援センター 特別修学支援室

学習や大学生生活の悩み 気軽に相談受付中!

学生の誰もが学びやすいキャンパスへ。その実現に向けて、高知大学では特別修学支援室を設置し、学生の支援やキャンパス環境の整備などに取り組んでいます。「障がいのある学生のサポートが基本的な取り組みで、学内のバリアフリー化を進めています」と話すのは、特別修学支援室長の松本秀彦先生です。例えば、車いす利用の教室で、エレベーターのない棟の2階以上の教室で行われる授業を受講したい場合、教室変更を行う受講できるようにします。



身体機能の障がいだけでなく、発達障がい

の学生に対しても支援を行っています。こうした場合、どのようなサポート方法があるのかを本人を交えて特別修学支援室や関係教職員で検討し、支援を開始するそうです。

「障がいのあるなしにかかわらず、友達ができない、レポートが書けないといった悩みがある学生もぜひ相談に来てほしいと思います。困っている学生は誰でも支援するのが特別修学支援室の方針です」今年からは修学支援のための教員も着任し、学びのサポートが強化されました。

「色いろな人がいて いいじゃない」が合言葉

特別修学支援室の取り組みの中には、バリアフリーの観点から街の活性化を考える学生団体「コンパス」と連携して行われているものもあります。コンパスの代表である岩瀬誠司さん(人文学部3年)は、「もともと障がい者に関心を持ってもらえれば、学内で車いすの体験イベントの開催などをしていきます」と活動について話します。昨年は特別修学支援室と連携して、学内のバリアフリーマップを作成しました。

「学生と一緒に取り組むことで、彼ら自身にも興味を持ってもらえるし、ほかの学生にも働きかけることができます。学生の意識を



お話を伺ったのは...

[写真左] 特別修学支援室 室長

松本 秀彦

東京学芸大学教育学部生涯教育学科卒業。同大学院障害児教育専攻修了、北海道大学大学院単位取得満期退学。作新学院大学で障害児認知心理学担当および宇都宮市スクールカウンセラーを経て、2014年、高知大学に着任。専門は、特別支援教育、発達障害児者心理学、認知心理学。「これからは支援室の存在をもっと学生にアピールし、気軽に相談に立ち寄ってもらえるようにしたいですね」

[写真右] 人文学部社会経済学科3年

岩瀬 誠司

地域まちづくりプロジェクト「コンパス」代表。兵庫県生まれ。「バリアフリーの観点で、よりよい街をつくりたい」と、2年生の時にコンパスを創設しました。商店街に来た障がい者の方の補助ボランティアなどを行っています

変えることも、大学のバリアフリーを進めるためには必要なんです」特別修学支援室の合言葉は、「色いろな人がいていいじゃない」。どんな色も、一人ひとりの個性。そんな、学生みんなが学びやすいキャンパスにするために、さまざまな取り組みを続けます。



学生とつくる

特別修学支援環境

・からふるパレット (キャンパスライフ支援ルーム)



特別修学支援室内にあり、いろいろな学生が過ごすことができる場所です。自習スペースもあり、学習活動もサポート。月1回、カフェを開催し、ワークショップなどを行っています。

・ノートテイク



「ノートテイク」は聴覚障がい者のための要約筆記で、話の内容を手書きやパソコンで文字通訳することです。聴覚障がいの学生がノートテイクを受けることができるように、要約筆記の実技を学ぶ講座を開催しています。

・学内バリアフリー化



点字ブロックやバリアフリートイレのチェックなど、環境の整備を行います。キャンパスのバリアフリーマップも制作しました。

特別修学支援室



朝倉キャンパス 共通教育棟1号館1階

TEL 088-888-8036 (相談室・教員研究室) 088-888-8037 (からふるパレット)

開館日/月～金曜日 利用時間/9:00～17:00 ※祝日、高知大学一斉休業日及び12月29日～1月3日を除く

サッカー部 主務 Soccer club



教育学部生涯教育課程 4年
さかもと そう
坂本 創さん

鳥取県出身。選手としての練習に加え、主務としての仕事と向き合う毎日。3年生の時、次に主務になる副務を決める際に候補者に自分が入っていたため、責任を持ってやってみようと思いを挙げた。



選手の視点では
気付かなかったことに
気付きました

サッカー部ってどんな部?

他の大学と比べても一番地域貢献に力を入れています。子供達とのサッカー教室や地域の学校への巡回指導を行っています。他の大学に聞いてもあまりしていません。サッカー部のグラウンドや地域に出向いて、選手が子供たちに教えているので、指導者になりたい人は良い経験ができます。学校の先生や保護者の方からも感謝され、やりがいもあります。

スキルアップのためには?

ひとつひとつ確実にこなすことが成長につながります。忙しいけど目の前の仕事をとにかくやるしかない!睡眠時間を削ってもやらないといけないことがあります!高知大学サッカー部は全国大会常連校ですが、グラウンドなど練習環境が充実しているとは言えないのでサッカーへの意識を高く持って練習やサッカー教室に取り組むことが欠かせません。



・仕事の内容は?

坂本/平日はCチームの練習に参加しています。主務としては選手の登録、宿の手配、選手証の管理、メンバー表の作成など試合に関する運営や、チームの練習時間を確保するために、野球部とグラウンド使用日程を調整し、練習表を毎週作っています。高校との練習試合の対応も全部やっています。

・大変なことは?

坂本/主務の仕事と四国大学サッカー連盟の事務局の仕事を並行することが大変です。大会のプログラムやエントリーの作成、集金や施設への支払いなど気が抜けません。

・やりがいを感じる時は?

坂本/チームメイトが「ありがとう」と言ってくれる時です。そして、今回、四国大学サッカーリーグの大会が無事に終わったことです。運営が滞ることなく、無事に済んで本当に良かったです。

心がけていることは?

坂本/エントリーミスがあったらチームが試合に出場できないし、運営ミスで進行に時間がかかると試合ができないこともあるので注意しています。自分の行動が多くの人に影響を与えてしまうので1つ1つの仕事に責任を持ち、間違いないよう気をつけています。

主務の経験は活かされている?

坂本/「サッカーをすることが当たりまえ」でしたが、自分がサポートする立場になると、試合をするにはいろんな人が動かないと成立しないことに気付くことができました。部を支えてくれている企業や地域の方々とのネットワークを築いたことは社会に出て活かせると思います。



陸上部
マネージャー
募集中です!



チームメイトの
「ありがとう」に
支えられています!



野球部での
4年間はとても
充実していました!

主務&マネージャー

部活動を行うにあたってはなくてはならない存在、それが彼ら「主務・マネージャー」です。選手たちが全力を出せるように、陰ながら支える彼らの仕事内容や想いに迫ります!



ぼくらの
キャンパスライフ
高知大生の今にエール!

特別編

部活動を

支える仕事に迫る!

陸上部 Track and Field club マネージャー

人文学部人間文化学科 2年
おかた ふみ
岡田 美巴さん

香川県出身。朝倉キャンパスの陸上部、唯一のマネージャー。高校生の時、選手を支える裏方の仕事に興味を持ち、実際にマネージャーを経験。大学になっても続けたいと思い、陸上部のマネージャーとなる。マネージャーがいてくれて「良かった」の一言がもらえるように頑張っている。



一人で大変ですが、
頼ってくれることが
すごく嬉しいです

陸上部ってどんな部?

大所帯ですが、陸上に対し意識が高い人が多い部です。自分の専門種目に力を入れることはもちろんですが、去年は、ほかの競技の大変さを知るために、自分の専門種目以外に参加する五種目競技会をみんなで行いました。陸上は、個人競技ですが、皆、切磋琢磨して練習に取り組んでいます。小中学生向けの陸上教室や陸上記録会など地域の方々との交流もしています。

スキルアップのためには?

合宿や遠征で他の大学のマネージャーさんの仕事を観察しています。忙しさをささげずに先回りして行動ができている人を見て、自分の動き方を直したりしています。他には最近、マッサージの勉強をはじめました!高校の時から興味があったのと、選手から要望があったので、いい機会だと思っています。本を買って、先輩から教えてもらって頑張ります!!



・仕事の内容は?

岡田/練習では飲み物を作ったり、記録を残したり、筋トレの時間を測ったりなどしています。試合では全選手のラップタイムを長距離、短距離のノート別に記録しています。陸上は4つのブロック(短距離・長距離・跳躍・投てき)に分かれていて、試合の時は、全ブロックをサポートしています。

・大変なことは?

岡田/仕事量が多いところでですね。マネージャーは一人だけなので手が空いている選手に協力してもらっています。快くやってくれるけど、心の中でゴメンねと思っています。

・やりがいを感じる時は?

岡田/選手が名前前で呼んでくれると、部員の一人として頼ってくれているように思えてやりがいにつながります。また、選手が大会などで実力を発揮して目標を達成した時は、自分のことのように嬉しくなります。

心がけていることは?

岡田/感謝の気持ちを持つことです。マネージャーの仕事は選手がいなくて成り立たない仕事だから、みんなには「頼ってきてくれてありがとう」と思っています。

マネージャーの経験は活かされている?

岡田/忙しい時にいろいろ頼まれても、一生懸命自分の中で優先順位をつけて、上手に割り振ることは、将来いろんなことに役立てられると思います。

野球部 Baseball club マネージャー

教育学部学校教育教員養成課程 4年
ひらかわ しんじゅ
平川 真珠さん

徳島県出身。野球が大好きなので、野球漬けの毎日でも笑顔。マネージャーになるきっかけは中学の時に、志望校が甲子園初出場したのを見て、その高校でマネージャーをしたかったこと。母親に「マネージャーが似合っているよ」と言われたことに背中を押され、大学でも続けている。



迷ったけれど、
マネージャーを続けて
よかったです!

野球部ってどんな部?

全員が本気で野球を頑張れる、打ち込める部です。全体練習を終えた後にも自分の弱い部分を鍛えるために積極的に自主練習をやっています。個性豊かなメンバーが揃っているので、プロで「野球部で1番〇〇な人は誰?」特集を企画して、試合では見ることできない部員の色々な姿を紹介したこともあります。

スキルアップのためには?

「見て考えて動くこと」を意識することですね。例えば、誰かがボールを片づけていたら、次は私が先に気が付いて片づけるようにしています。他には、動画を見て独学で場内アナウンスの練習をしていました。

毎日の練習メニューを「マネノート」と呼ばれているノートに書き写していました。



・仕事の内容は?

平川/お茶を作ったり、ボールの補助が基本で、試合ではスコアラー、場内アナウンス、写真撮影。事務では球場や宿泊の手配、お金の管理、選手登録ですね。四国6大学リーグでは、参加大学のスタッフが集まり、試合日程を決めています。部のブログやツイッターの更新作業もしていますよ。

・大変なことは?

平川/外部の方と接する際には、私の対応で野球部の印象が決まってしまうので、すごく意識して気を付けていました。

・やりがいを感じる時は?

平川/選手から必要とされた時です。意外と選手は見えてくれているので、頑張っているところを認めてくれた時はすごくうれしいです。

心がけていることは?

平川/自分がマネージャーとして、野球部に関われることに感謝し、手を抜かないことです。マネージャーひとりひとりが意識を高く持ち、協力しあうことでチーム全体に貢献することができます。部内でのマネージャーの存在も大きくなります。

マネージャーの経験は活かされている?

平川/監督がいつも言っていることですが、「『自配り』『気配り』『心配り』を大切にしています。社会人になってみずと心に留めておきたいと考えています。

専門職業人の育成を目指して

高知大学は、平成29年4月から理学部を理工学部(仮称)に改組する設置計画書を平成28年3月に文部科学省へ提出しました。

理工学部(仮称)への改組では、基礎・応用理学教育を更に充実させるとともに、全国でも珍しい防災理工学系の学科を設置し、専門職業人の育成を図ることとしています。設置が認められると、5学科体制となり、数学物理学科、情報科学科、生物科学科、化学生命理工学科、地球環境防災学科で構成される学部となります。また、総合的な教養及び理学や理工学に関する専門的知識と理工学的な視点を有し、グローバル化する社会の中で自ら課題を発見しそれを解決できる能力を身に付けさせるとともに、地域社会や国際社会において、地域イノベーションの創出と持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成します。

平成29年度設置予定(設置申請中)「理工学部(仮称)」設置計画書を提出しました



2017年4月改組予定
高知大学理工学部(仮称)に係る記者会見の様子

高知大学防災推進センターを発足

平成28年2月1日、総合研究センター防災部門を発展させて防災推進センターを発足しました。防災推進センターは、理工学、教育学、人文社会学、医学などのあらゆる防災関連研究者を結集し、災害に強いまちづくり、地域づくりに貢献し、頻発する大規模自然災害に対して迅速かつ的確に対応できる高度な防災人材を養成することを目的としています。

平成28年4月に発生した熊本地方を震源とした地震の災害に対して、発生直後から産学官で連携しながら現地調査にあたっており、5月17日には、「熊本地震の現地調査速報会」を開催し、構造物の被害、液状化、高知大学DMATによる医療活動及び避難施設の状態等に関して報告が行われました。



2016年5月17日に行われた熊本地震速報会の様子



子どもサッカー教室およびシンポジウムを開催しました

ドイツのサッカー指導者フィンケ氏を招聘しイベントを開催

本学のスポーツを通じた地域貢献の取組として、ドイツのサッカー指導者で、Jリーグ浦和レッズやカメルーン代表の監督を務めたフォルカー・フィンケ氏を招聘し、「子どもサッカー教室」及び「シンポジウム 高知のスポーツを語ろう」などを開催しました。

5月14日、15日に南国市スポーツセンターで開催された「子どもサッカー教室」では、幼稚園児から小学校6年生までの約400名の子供達が参加しました。フィンケ氏は、サッカーボールを懸命に追いかける子供達に積極的に声を掛け、笑顔でサッカーの楽しさを伝えていました。



また、5月14日に県民文化ホールで行われた「シンポジウム 高知のスポーツを語ろう」では、フィンケ氏がスポーツを通じて地域貢献や子供の育成をテーマに講演し、ドイツを事例に地域と連携した取組の大切さを紹介しました。その後のパネルディスカッションでは、受田地域連携推進センター長、橋詰南国市長、森下高知銀行頭取ら6名も参加し、幅広い視点でスポーツを通じた地域活性化の可能性について意見が交わされました。

なお、「子どもサッカー教室」のコーチ役として参加した高知大学サッカー部は、5月15日に行われた四国大学サッカートーナメント決勝戦に勝利し、16年連続26度目の優勝を果たしました。その結果、8月6日から関西地区で開催される「第40回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」に四国代表として出場します。



シンポジウム 高知のスポーツを語ろうの様子

平成28年度 土佐FBC開講式

高知の食品産業を担う人材育成に向けて

県内の食品産業の中核となる人材を育成する本学の事業「土佐フードビジネスクリエーター(土佐FBC)人材創出事業」の平成28年度開講式が、5月13日に物部キャンパスで行われました。本事業は、平成20年度から文部科学省科学技術戦略推進費によりFBCを開始し、平成25年度から高知県の寄附講座として県内自治体、銀行、JA等の協力により運営しています。今年度から、文部科学省による「職業実践力育成プログラム」として認定されたほか、国家戦略・プロフェッショナル検定「食の6次産業化プロデューサー」の資格取得が可能となりました。

平成20年度から数えて9期生となる県内企業関係者など51人の受講生が、最長2年間、食品の品質管理・マーケティングなどを学びます。



剣道部が西日本学生剣道大会で創部以来初のベスト8

主将の横川みりさんが優秀選手賞を受賞

平成28年5月28日、福岡市民体育館において、第61回西日本学生剣道大会・第31回西日本女子学生剣道大会(主催九州学生連盟)が開催され、女子剣道部は、準々決勝に進出した。準々決勝では、同志社大学に敗れ3位入賞は逃したものの、中四国連盟では男女を通じて唯一のベスト8入りを果たしました。本学剣道部が西日本学生剣道大会で8強入りしたのは、創部以来初めてのことです。



また、全体で8名選出される優秀選手に本学剣道部主将の横川みりさん(教育学部4年・参段)が選出されました。

新しい高知大学オリジナルグッズのご紹介

この度、高知大学オリジナルグッズに新しく4種類のグッズが加わりました。高知大学生活協同組合のショップ(朝食キャンパス・物部キャンパス)にて販売しています。ぜひ、お土産等にご利用下さい。



タンブラー 350ml 950円

朝食キャンパスのカフェテリアでは、このタンブラーを持参すると飲み物が20円引きとなります。

ポロシャツ ネイビー1,976円、白・水色2,149円
胸元に学章、左腕の袖にKochi Universityの文字が入っています。

オリジナルギフトボックス 120円

大学オリジナルグッズや、附属特別支援学校のhocco sweetsの焼き菓子などを入れて、贈り物に。

ミレービスケット 4連270円

パッケージに各キャンパスの写りが印刷されています。

学会受賞者等紹介 (平成28年3月~5月)

平成28年度日本植物病理学会賞受賞

総合科学系生命環境医学部門 曳地 康史 教授

総合科学系生命環境医学部門 曳地 康史教授が、植物病原細菌と宿主植物の感受性の成立に関わる相互作用研究(タイトル:「感受性の成立に関わる植物病原細菌と宿主植物の相互作用研究」)において、細菌による植物の自然免疫回避機構と細菌の病原性機構に関して先導的かつ重要な研究成果が、学術上および応用上寄与するところ多大であったことから、日本植物病理学会平成28年度大会において、日本植物病理学会賞を授与されました。

平成27年度地盤工学会四国支部賞受賞

自然科学系農学部門 原 忠 教授

自然科学系農学部門 原 忠教授及び大学院総合人間自然科学研究科農学専攻2年 石川 諒さんらの研究グループが行った「常時微動観測による地盤の堆積構造と建物倒壊推定法の提案」について、平成27年度地盤工学会四国支部賞(研究・論文賞)が授与されました。

2016年TESOLヴァージニア・フレンチ・アレン賞受賞

人文社会科学系人文社会科学部門 Darren Lingley 教授

人文社会科学系人文社会科学部門 Darren Lingley(ダレン リングレイ) 教授が、2016年TESOLヴァージニア・フレンチ・アレン賞を受賞しました。この賞は、学術を極めて教育貢献をしたTESOL(Teaching English to Speakers of Other Languages 第2言語または他の言語として英語を教える)教員に敬意を表し、TESOL国際学会(TESOL International Association)の系列である学会への貢献を賞するものです。Darren Lingley教授は、日本全国語学教育学会(JALT)での活躍が評価され、受賞しました。賞は、2016年4月7日に米国(メリーランド州ボルティモア)で行われたTESOL国際大会で贈られました。

基金「高知大学さきがけ志金」ご寄附のお願い

■高知大学さきがけ志金の目的

高知大学の理念である『地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成と学問、研究の充実・発展を推進する』ため、これらに対する事業の支援とその環境の更なる整備・充実を図ることを目的とします。

■募金の対象者

本志金の趣旨に賛同いただける個人・法人・団体等

■ご協力をお願いする金額

個人による寄附金につきましては、1口1千円を単位とします。法人・団体等による寄附金につきましては、1口1万円を単位とします。(本志金の趣旨をご理解いただき、なにとぞ複数口でのご協力をお願いします。)

■高知大学さきがけ志金ホームページ

インターネットのウェブ検索サイトで「高知大学さきがけ志金」とご入力いただき、検索をお願いいたします。

高知大学さきがけ志金

検索

■お問い合わせ先

〒780-8520 高知市曙町2-5-1
高知大学さきがけ志金担当 TEL:088-844-8100
FAX:088-844-8738 E-mail:sj02@kochi-u.ac.jp